



外国の方(アメリカ・中国・台湾)を招いた
田植え体験



手作りみこし: 台座に「春米」の文字などが入った酒樽を据え紅白の縄で結びつけ 高さ約1.5m幅4mの大きさのみこしを地元有志で手作りしました

～大久保さんにインタビュー～

①文字を伝える活動を続けてきて実感はありますか？

活動を始めたばかりの頃よりも、多くの人に認識してもらったという達成感はあるけれど、まだまだ知られてないなと感じるときもあります。

②活動をする中で困っていることはありますか？

5年後・10年後に、この地区の農地を守っていく後継者がいるだろうか心配しています。今現在は退職した人を積極的に勧誘して、酒米づくりをきっかけに仲間づくりができています。

③最近、変化があったことはありますか？

県の土地改良事業で上と下の集落をつなぐ農道ができたことで、行き来が楽になりました。また、今までトラクターが入れなかった田んぼにも入れるようになり使いやすくなりました。



「春米の文字を後世に伝える会」
大久保俊彦会長

春米で取れた酒米100%から造った日本酒を販売している萬屋醸造店



〒400-0501
山梨県南巨摩郡富士川町青柳町1202-1
TEL 0556-22-2103
営業時間 8:00～17:00(土日定休日)



春米の文字が入った日本酒で、原酒ではなく天然水で薄めたものです。720mlが1380円(税込) 1.8Lが2852円(税込)で販売されています